

# わたしのまちの決算書

詳細 財政課 ☎ 231-1160

## 平成25年度決算ってどんな？

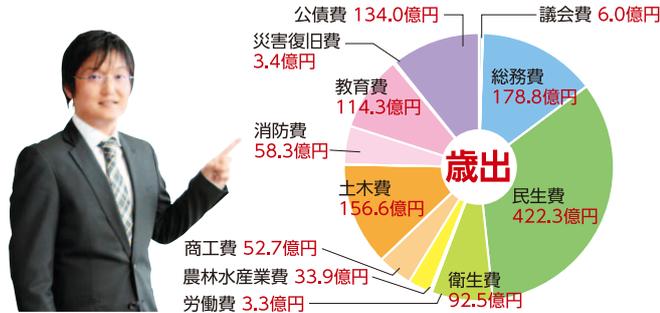
平成25年度は、「もっと熱く！下関元氣アップ」をキーワードに、「元氣な下関」を実現するため、予算を編成し、下関市総合計画後期基本計画に掲げる6つの重点プロジェクトを着実に実行しました。

一般会計の歳入歳出差引決算額(形式収支)は36億1,243万円でした。このうち翌年度へ繰り越すべき財源は3億793万9千円で、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は32億3,304万円の黒字となりました。地方公共団体の一般財源の標準規模に対する実質収支額の割合(実質収支比率)は4・7%であり、これは、おおむね望ましいとされる3〜5%の範囲内に納まっています。

## 一般会計決算



1,292億2,720万円



1,256億1,477万円

## 家計簿チェックします！

下関市の平成25年度の一般会計歳入歳出差引決算を家計に例えてみました。実際の決算額を平成26年3月31日現在の住民基本台帳人口(27万6,369人)で除したものです。住民一人あたりの収支としても見ることも可能です。ひと月あたりの収支としてもイメージできます。

### 収入

名称	H24年度	H25年度
給料(基本給)(市税)	12万2千円	12万2千円
給料(諸手当)(各種交付金・地方交付税)	12万円	12万円
パート収入(分担金・負担金・使用料・手数料)	1万8千円	1万9千円
親からの援助(国県支出金)	8万4千円	9万2千円
ローンの借入(市債)	4万4千円	7万6千円
預金引出(繰入金)	5千円	6千円
不動産収入・利子(財産収入・諸収入など)	2万円	2万円
前月の残り(繰越金)	1万4千円	1万3千円
合計	42万7千円	46万8千円

#### 下関市の借金

名称	H24年度	H25年度
借入金(現債高)	1,209億4,540万2千円	1,299億7,986万1千円
住民一人あたりに換算	43万4千円	47万円

### 支出

名称	H24年度	H25年度
食費・教育費・公共料金・生活用品費など(人件費・物件費)	12万1千円	12万1千円
医療費(扶助費)	9万2千円	9万4千円
ローン返済(公債費)	4万9千円	4万8千円
子への仕送り(繰入金)	5万円	5万円
交際費など(補助費等)	4万5千円	4万4千円
家の修繕・改築など(投資的経費)	4万9千円	8万7千円
預金(積立金)	8千円	1万1千円
合計	41万4千円	45万5千円

#### 下関市の預金

名称	H24年度	H25年度
預金残高(基金残高)	229億9,989万5千円	245億6,911万3千円
住民一人あたりに換算	8万2千円	8万9千円

## 平成25年度の特徴！

### 「親からの援助が増えた理由」

地域経済活性化・雇用創出臨時交付金(地域の元氣臨時交付金)、社会資本整備総合交付金の増加などが大きな要因です。

### 「ローンの借入が増えた理由」

市役所本庁舎、総合支所庁舎、消防庁舎の整備、下関駅周辺の整備、勝山公民館改築などが大きな要因です。

### ■医療費(扶助費)

社会保障関係費は、年々増加傾向にあります。

### ■家の修繕・改築など(投資的経費)

市役所本庁舎、総合支所庁舎、消防庁舎などの整備、下関駅周辺の整備、勝山公民館の改築を行ったため増えました。

### ■預金(積立金)

親からの援助のお金(地域経済活性化・雇用創出臨時交付金)を、地域の元氣基金に積み立てたため増えました。



# 予算用語解説

【一般会計】…市の会計の中心となるもので、行政運営の基本的な経費を計上した会計

【特別会計】…特定の事業を行う場合など、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある会計

【公営企業会計】…地方公営企業法を適用し、原則的にその事業の収入で支出を賄うといった独立採算で事業を行う会計

【総務費】…職員の給与など一般事務費や税徴収費、選挙費などの経費

【民生費】…福祉（高齢者・障害者・児童・生活保護など）のための経費

【衛生費】…健康づくりやごみ処理など、市民が健康で衛生的な生活環境を保持するための経費

【労働費】…雇用促進のための経費や労働者のための施設管理などに使われる経費

【農林水産業費】…農林水産業の振興を図る支援や観光振興のための経費

【商工費】…商工業の振興を図るための支援や観光振興のための経費

【土木費】…道路、橋、河川、公園などの建設や維持のための経費

【消防費】…消防事業や災害防除、火災が生じた場合の被害を軽減するための経費

【教育費】…小・中学校など全ての教育関係のための経費

【災害復旧費】…災害によって生じた被害を復旧するための経費

【公債費】…市の借入金を返済するための経費

【実質収支】…歳入から歳出を引いて、さらに翌年度に繰り越すべき財源を除いた決算額

【地方交付税】…国税のうち一定割合の額を、国が地方公共団体へ交付する税。普通交付税と、災害など特別な事情に応じて交付する特別交付税がある。

【国・県支出金】…国・県の地方公共団体に対する支出金。国からは負担金、特定の施策への財政援助のためなどの補助金がある。県からは、県が施策として単独で交付するものと、県が国庫支出金を市町村に交付するものがある。

【繰入金】…一般会計、特別会計や基金の間で行われる現金の異動のこと。

【市債】…一度に大きな費用が必要となる事業などを行うための、長期的な借入金。

【使用料・手数料】…地方公共団体が提供する事務やサービスを受けたときに納める、条例などに定めた収入。下関市では公営住宅使用料、海響館入場料などがある。

## 写真で見る決算

### ■主な取り組み

下関駅にぎわいプロジェクトの一環として、下関駅自由通路などの整備を行うとともに、市民の交流と子育て支援の拠点施設「ふくふくこども館」を建設し、平成26年4月1日にオープンしました。



ふくふくこども館

### ■防災の分野

耐震性能を有した新しい消防庁舎を岬之町に建設しました。新しい消防庁舎には、消防防災学習館・火消鯨の他、美祿市と共同運用する高機能消防指令センターの機能なども備えています。

市民の安全を確保し、魅力あるまちづくりを図るため、危険家屋の解体に要する費用の一部について助成を行いました。



新消防庁舎  
消防防災学習館「火消鯨」

### ■農林水産の分野

豊田町みのりの丘に「みのりの丘ジビエセンター」をオープンしました。捕獲したイノシシ・シカの肉を市の地域資源として有効活用していくとともに、地域ぐるみの有害鳥獣被害軽減対策を行っていきます。

### ■観光の分野

イルミネーション水族館、ふくちようちんまつりなどの観光キャンペーンを通じ、下関の魅力を全国に発信し、観光客数100万人、宿泊客数100万人を目指しています。

### ■その他

市役所本庁舎新館は、議会施設、保健センターなどの一部施設の供用を開始しました。豊北総合支所は、新庁舎での業務を開始しました。老朽化した勝山公民館を改築し、公民館、保健

センター、支所の機能を併せ持つ、地域交流の拠点となる施設を整備しました。



下関駅にぎわいプロジェクト



イルミネーション水族館



ふくちようちんまつり



勝山公民館



豊北総合支所

# — 特別会計と公営企業会計 —

市の会計には、福祉や教育、都市整備や産業の振興などに皆さんが納める市税などが使われる「一般会計」の他に、特定の事業を行う場合の「特別会計」、地方公営企業法を適用し、その事業の収入で支出を賄う独立採算で事業を行う「公営企業会計」があります。



## 特別会計の決算 (単位：万円)

会計	歳入	歳出
港湾	525,962	578,617
臨海土地造成事業	34,880	370,899
渡船	14,144	13,405
市場	108,150	84,944
国民健康保険	3,596,964	3,443,316
土地取得	55,793	44,027
観光施設事業	45,428	44,235
駐車場事業	41,035	41,035
漁業集落環境整備事業	1,202	980
介護保険(介護保険事業勘定)	2,523,344	2,479,999
介護保険(介護サービス事業勘定)	10,799	9,442
農業集落排水事業	38,131	36,969
母子寡婦福祉資金貸付事業	7,123	1,951
後期高齢者医療	419,847	408,032
市立市民病院債管理	118,477	118,477
合計	7,541,279	7,676,328

## 公営企業会計の決算 (単位：万円)

会計・区分	歳入	歳出	
水道事業	収益的収支	645,352	578,195
	資本的収支	73,471	298,486
工業用水道事業	収益的収支	28,372	26,059
	資本的収支	0	4,643
公共下水道事業	収益的収支	651,656	716,283
	資本的収支	369,880	697,724
病院事業	収益的収支	116,790	133,286
	資本的収支	14,863	23,509
競艇事業	収益的収支	2,326,834	2,308,951
	資本的収支	15,309	2,348
合計	4,242,527	4,789,484	

■収益的収支…営業による収入と、その営業に必要な人件費や維持管理費などの支出の収支

■資本的収支…建設工事を行う際の収入(国・県補助金など)と、新たに水道管を敷設するなどの工事費などの支出の収支

# — 下関市の健全化判断比率 —

下関市の健全化判断比率は、財政悪化の目安とされる早期健全化基準を大幅に下回っており、特に問題はないといえます。

資金不足比率は、臨海土地造成事業特別会計で資金不足が発生しており、平成22年度より引き続き経営健全化基準を上回っています。平成23年度に経営健全化計画を策定し、ポートセールスや企業セールスなどにより、長府扇町造成地の一部の売却などを行った結果、当該計画の平成25年度の目標数値を達成することができました。今後も、資金不足解消に向けて、経営改善に継続的に取り組みます。

### 平成25年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率について (単位：%)

		平成24年度	平成25年度	早期健全化基準
財政健全化法に基づく指標	実質赤字比率	-4.2	-4.1	(11.25)
	連結実質赤字比率	-15.0	-16.8	(16.25)
	実質公債費比率	11.7	11.5	(25.0)
	将来負担比率	100.5	97.5	(350.0)
		平成24年度	平成25年度	経営健全化基準
資金不足比率	臨海土地造成事業特別会計	57.8	55.8	(20.0)

資金不足が生じた会計は、臨海土地造成事業特別会計のみ。

#### ●解説

健全化判断比率はいずれも財政悪化の目安とされる早期健全化基準を下回っています。

臨海土地造成事業特別会計で、経営健全化基準を超える資金不足が生じていますので、平成23年度に策定した経営健全化計画に沿った経営改善に継続して取り組んでいます。

### ○実質赤字比率

一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模(市の標準的な一般財源の額)に対する比率です。下関市では黒字となっています。

### ○連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率です。下関市では黒字となっています。

### ○実質公債費比率

一般会計等が負担する元利償還金等の標準財政規模に対する比率です。下関市では早期健全化基準を大幅に下回る11.5%となっています。

次世代へ過大な負担を先送りしないよう、今後も事業の適切な取捨選択、地方債発行額の抑制を通じ公債費負担の軽減に努めます。

### ○将来負担比率

一般会計等が将来負担すべき実質的な負債(借入金残高、債務負担や退職金など)の標準財政規模に対する比率です。下関市では、早期健全化基準を大幅に下回る97.5%となっています。

今後も引き続き、収支状況だけでなく、将来負担の軽減に注視した財政運営に努めます。

### ○資金不足比率

各公営企業会計の営業収益などから算出した事業規模に占める資金不足額の比率です。